

研修研究センターのうごき

成果物紹介

介護サービステキスト
オリジナル教材

「介護技術」「介護家政」 の開発



現在の高齢社会は、要介護性の老人層を大量に生み出し、また家庭内の介護力の脆弱化、一人暮らしの老人の増加、家庭介護者の高齢化の問題などが生じ、今後ますます深刻な社会問題となっていくことが予想されます。

こうした状況から老人や障害者の健康を守り、その生活を維持していくことを目的として、昭和62年に「社会福祉士及び介護福祉士法」が制定され、さらに平成元年には高齢者保険福祉サービスの基盤づくりを目標に「ゴールドプラン」、平成7年には目標水準を見直した「新ゴールドプラン」が策定されました。

このように、介護のニーズが急速に高まっている現在、公共職業能力開発施設で実施している短期課程の普通職業訓練（6ヵ月）の「介護サービス科」への期待も大きくなってきました。

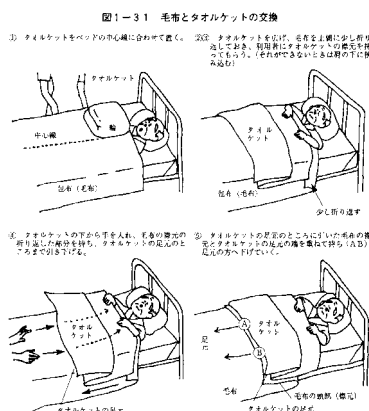
それに伴い指導内容の向上およびレベルの均一

化を図っていく必要性が高まり「介護技術」「介護家政」の2分野のテキストを開発しました。

本テキストは、職業能力開発の現場で有効に使用できるよう介護・福祉関連の職種において第一線で活躍されている経験豊富な先生方に執筆を担当していただき、職業能力開発に最も重要な、“心くばり”“カン”“コツ”を随所に散りばめ、受講生が理解しやすく、より実践的な知識・技能が習得しやすいようにいろいろ工夫しています。

具体的には、表現は初学者にもわかりやすいものとし、イラスト、図、表等をできるだけ多く取り入れ、作業手順も細分化し、理解しやすいように配慮しました。

また、各章の冒頭には「オリエンテーション」、各節の冒頭には「学習のポイント」を設け、受講生の習得上のポイントが明確になり、より理解しやすいものとなりました。



「介護技術」本文
(オリジナルイラストが豊富)



「介護家政」巻末付録
(衣、食、住の具体例をカラーで紹介)

さらに、巻末にはポイントとなる語句について索引をもうけ、利用しやすいオリジナルなテキストを目指しました。

なお、本テキストは訓練期間中だけでなく、訓練の課程修了後も介護の実践の場において活用されることも配慮して作成し、付録を充実させました。

本テキストの構成は、次のとおりです。

「介護技術」(A 4 判361頁)

序 章 高齢化社会と介護

第1章 介護環境の整備

第1節 介護用具・福祉用具

第2節 寝床の整備(和式布団, ベッド)

第3節 住環境の整備

第2章 人の健康な状態と変化時の観察

第1節 人の成長発達と変化

第2節 健康と健康不調

第3節 健康な生活の基本となる状態の観察

第3章 日常生活の自立のための介護技術

第1節 衣生活の援助

第2節 食事の援助

第3節 安楽な体位と移動動作

第4章 身体介護技術

第1節 清潔の援助

第2節 排泄の介護

第5章 安楽への援助

第1節 物品を用いた安楽な体位

第2節 マッサージ

第3節 部分浴

第4節 電法

第5節 睡眠への援助

第6章 医療対応時の介護

第1節 医療対応時の介護者の役割

第2節 起こりやすい緊急事態と応急処置

第3節 主に行われる医療処置と介護

第4節 終末期の介護

第7章 感染予防と介護

第1節 感染症と対策の基本

第2節 感染防止対策の実際

第8章 個別介護計画

第1節 個別介護計画(ケアプラン)

第2節 介護計画の実際

「介護家政」(A 4 判242頁)

序 章 日常生活維持と介護家政

第1章 介護家庭の生活の援助と管理

第1節 家族と家庭生活

第2節 家庭型態と要介護家庭

第3節 介護と家政

第4節 家事労働

第5節 家事援助の実際

第2章 食生活

第1節 食生活と健康・栄養

第2節 高齢者・障害者と食事

第3節 からだの不調時と食事

第4節 食品衛生の実際

第5節 在宅高齢者・障害者と食事

第3章 被服生活

第1節 被服生活の意義

第2節 被服生活の役割と機能

第3節 被服の素材と品質表示

第4節 被服の選択

第5節 被服の管理と補修

第6節 高齢者・障害者の被服の工夫

第4章 住生活

第1節 住生活の意義

第2節 住居の役割と機能

第3節 快適な室内環境

第4節 住居の管理と安全

第5節 高齢者・障害者とバリアフリー住宅

第6節 住環境整備の実際

本テキストに関わるお問い合わせは、下記まで
お願いします。

職業能力開発大学校

研修研究センター 広報普及室

〒229-1196

神奈川県相模原市橋本台4-1-1

TEL 0427-63-9047